

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 3 月 24 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・療育室とは別に部屋の確保されている。 ・東京都の基準を守りおこなっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・利用者が使いやすいように配慮している。 ・玄関前がスロープであり、バリアフリー化していると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・清潔面には十分気をつけている。 ・手洗いの水道の高さが児童の身長に合わせて工夫していると思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・子どもの特性に合わせて使用する機会も多い。 ・子どもの気持ちが落ち着かない時など個別の空間を作っている。 ・状況に合わせて個別の空間があるので気持ちの切り替えがしやすい環境になっていると思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表を職員全員が見ることができるようにし、必要に応じて改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・午前と午後と話し合う時間を設けている。 ・職員間で意見や活動内容を共有し、より良い業務につながるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・研修を受講後、他の職員と共有し向上を図っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・児発管だけでなく職員とパートの意見を聞き作成し、共有理解できるようにつとめている。	・作成された支援計画を確認し、職員が計画書に情報を付け足していくことがあるが、全員で話し合いながら検討する時間を設けることは難しく感じる。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		・新しく入った職員に対して、説明はしているが、一つずつ確認する時間が少なく感じます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・子どもの特徴を把握し、情報を集めるようにしているが自分自身まだ出来ていない為、意識していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・その都度必要に応じてのプログラムを作成している。	・社員でプログラムを作っているが、職員全員でまとめた意見を話し合い立案することは出来ていないように感じる。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・子どもの特性について話し合い必要なプログラムを作成している。 ・活動内容などは時期やその時々の子どもの様子や興味に合わせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		・おおまかには出来ているが個別＝自由遊びになっていることがある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・通常の日は出勤時刻も異なるので各自通達の形で知らされている。 ・支援開始前に打ち合わせを行い、活動の流れや役割について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・振り返りをおこない、日誌や必要に応じて伝達ノートに記入している。	・できる日もあるが送迎から戻ってくる時間がないと、出来ない日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		・支援記録を取ることは徹底しているが、改善等のミーティングや、パートを含めた全体で決まったことを知る機会がないことがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		・できていると思うがそれぞれの分野の活動内容や細かく4つの基本活動が記録できているとなお良いと思う。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		・全てとはいえないが学校などと比べるとかなり選択の幅は広いと思われる。 ・日々の支援の中で子どもの気持ちを第一に考えるようにしている。活動も選べるようにしている。 ・製作一つにしても、いくつか種類を用意し、好きな物を選び行うように工夫している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・関係機関とはこまめに連携をとっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・関係機関とはこまめに連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・子どもの学校での様子も共有するようにしている、伝達なども伝え忘れないようにする。	・学校の予定表が出るのが遅いため月初めの予定を作るのが難しい。基本は保護者を通して下校時間を教えてもらっているが学校側を直接連絡できると良い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		・まだその段階に至っていないと思う。 ・障害福祉サービスへの移行をした事例がないためわからない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		・職員がまとまった状態で直接助言を受ける機会はあまりないと感じる。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・回数は少ないが実施している。 ・曜日等で他の子ども達を交えながら活動が出来ていると思う。 ・イベントで交流することがあります。（夏祭り、焼き芋パーティーなど）	・会社内での施設間の交流はあるが、他の交流はあまりないと感じる。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時にその日の様子を共有したり伝えるようにしている。 ・保護者に見学してもらい、成長を共有することが多い。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・送迎時にその日の様子を共有したり伝えるようにしている。 ・保護者に見学してもらい、成長を共有することが多い。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・面談や電話で相談にのり対応している。 ・家族から相談があった場合は時間を設け、支援できるように心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		・時間の問題もあり難しいと思うが、年に1回でも実施できると良いと思う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情などがあった場合は全体周知し迅速に対応できるようにしている、また必ず引き継ぐようにしている。 ・保護者が少しでも不安に思った事等でも迅速に対応していると思う。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		・連絡するためのツールを使用し、保護者への情報共有を行っているが、HPやSNSで外部に発信することはできていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人が特定されるような情報、写真の取扱いに十分気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・夏祭りでは他の授業所や保育園を招待したり、参加させていただいている。	・保育園や学童以外の地域の方を招くのは難しいと思うが、祭りなどのイベントで招待することができれば良いと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・看護師による研修など参加し職員に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・大きめの地震があった後は、子ども達と話し合ったり、防災クッキングや公衆電話の使い方など子ども達と行っている。	・施設以外の訓練に行ったことがない為、今後必要な訓練をしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		・てんかんが起きた際の詳細な対応方法について話し合う機会が必要であると感じる。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・職員で研修を行い、適切な対応が行えるようにしてる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		・身体拘束を行う事例がないためわからない。	